

インターネットを 正しく安全に利用しよう

インターネットを 正しく安全に利用しよう。



大山町中学生の
ネットルール

【第1条】平日1時間以内、休日2時間以内、
睡眠を妨げてはいけません。
【第2条】自分の他人の個人情報や写真にネット上に載せません！
【第3条】悪口や人を傷つける言葉は、絶対に書きません！
【第4条】メール、タブレットなどを使わないときは電源を切ります！
【第5条】自分の安全のために、誘惑を断ってメディアに頼りません！

大山町
子ども達の実際
メディア機器を使って、インターネットを利用している割合(%)

学年	割合(%)
1年生	92
2年生	94
3年生	95
4年生	96
5年生	97
6年生	98

大山町メディアから子どもを守る実践会議

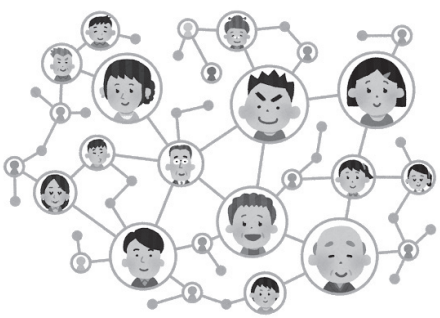


リーフレットの内容は、
町ホームページからも
見ることが出来ます。

中学生とつくる ネットルール

「大山町メディアから子どもを守る実践会議」では、町内各中学校の生徒会の協力のもと、大山町中学生のネットルールを作成しました。多くの子どもたちにとってインターネットはもはや当たり前の環境になっています。インターネットにあふれている様々な情報とどのように向き合い、関わり合っていくのが大切で

す。今回作成したルールは、リーフレットとして各中学校の全校生徒に配布する予定です。子どもたちの意識の向上や家庭でのルール作りにつながっていくことを期待しています。



家読(うちどく)のすすめ

大山町では、「家読のすすめ」というリーフレットを各学校、図書館に配布し、家庭での読書を推進しています。読書には、次のような良さがあります。

- ・心が豊かになる
- ・集中力が向上する
- ・言葉の力や想像力が育つ
- ・マナーや社会のルールが身につく
- ・知識が豊かになる
- ・脳を元気にする

インターネットとの上手な向き合い方が叫ばれています。一方で家庭での子どもたちの時間の使い方が課題だと言われています。家族と一緒に家読の時間を共有することは、家族の絆を深め、コミュニケーション能力を養い、先に挙げたような多くの良さにつながります。

時には、テレビを消し、家読の輪を広げてみるのはいかがでしょうか。

「家読」は家庭読書の略語です。読書は生きていくための支えや力となります。家読と家読の時間を共有することで、コミュニケーション能力も養われます。家読には、良いことがたくさんあります。

大山町子どもの読書活動推進委員会

「出張英語村in 大山町」開催!

3月17日に名和公民館に鳥取環境大学国際交流センターの方々を招き、出張英語村in大山町を開催しました。午前中は小学生、午後は中学生と大人を対象に実施しました。

午前中の小学生の部では17名の参加があり、簡単な英単語のやりとりによるゲームや歌を楽しみました。小学校1年生から6年生まで、どの子どもも楽しめるプログラムで会場は笑顔と歓声であふれました。

午後の部は、中学生と大人を合わせて15名の参加でした。ここでは、外国の方々と会話を楽しむ時間となりました。自分の趣味や住んでいる地域のこと、外国の方からは、母国の様子など、様々な話題で盛り上がり、あっという間の2時間でした。参加された方々からは、次回への期待も多く寄せられました。

第2回目の開催は8月を予定しています。その際は、防災無線等でお知らせします。

